

## 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の概要について

清秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろより、本校の教育活動に御理解と御支援をいただいておりますことに、心よりお礼申し上げます。

さて、今年度の全国学力・学習状況調査について、自校で分析した結果の概要を下記の通りまとめましたので、お知らせいたします。

本校といたしまして、成果や課題を把握・検証して、その改善を図り、子どもたち一人一人の学習状況の改善や学習意欲の向上等につながるよう教育実践を進めてまいりたいと考えています。

なお、本調査により測定できるのは、あくまでも学力の一部であり、学習状況の全てを判断することは難しいところであることを御理解いただきますようお願いいたします。

## 1 結果について

## 国語

〈成果〉～正答率の高い問題内容～

- 話し言葉と書き言葉の違いを問う問題
- 必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える問題
- 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く問題

〈課題〉～正答率の低い問題内容～

- ▲立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる問題
- ▲物語の主題を捉える問題
- ▲文章全体の構成や展開が明確になっているなど、文章のよさを見つける問題

## 算数

〈成果〉～正答率の高い問題内容～

- 基礎的な四則計算の問題
- 示された問題場面を理解し、わり算で求めることができる理由を記述する問題
- 図形の構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について考える問題

〈課題〉～正答率の低かった問題内容～

- ▲割合に関する問題
- ▲伴って変わる2つの量が比例関係にあることを用いて、未知の数量の求め方を記述する問題
- ▲図形をかく「プログラミング」の問題

## 理科

〈成果〉～正答率の高い問題内容～

- 問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつ問題
- 情報を複数の視点で分析して自分の考えをもつ問題
- 「メスシリンダー」の名称を答える問題
- 自分で発想した実験方法と追加された情報を基に、実験方法を検討・改善して自分の考えをもつ問題
- 観察で得た結果を問題の視点で分析して解釈し、自分の考えをもつ問題

〈課題〉～正答率の低い問題内容～

- ▲自分の予想と実験結果を基に、問題に正対するまとめを考察する問題
- ▲自然の事物・現象から得た情報を他者の気付きの視点で分析・解釈し、自分の考えをもつ問題
- ▲日光は直進することに基づいて考える問題
- ▲観察から得た結果を、結果から言えることの視点で分析・解釈し自分の考えをもつ問題
- ▲水は水蒸気になって空気中に含まれていることに基づいて答える問題

## 児童質問紙

〈成果〉～肯定的な回答の割合が高い内容～

- 「自分にはよいところがある」、「将来の夢や目標をもっている」といった自己有用感に関する質問
- 「勉強は大切だと思いますか」「学習したことは将来、社会に出たときに役立つと思いますか」といった学習に対する必要感に関する質問
- 「話合いを通じて、自分の考えを深めたり広げたりすること」
- 「人の役に立つ人間になりたいと思う」

〈課題〉

- ▲平日の授業以外の勉強時間が短い児童の割合が多い
- ▲テレビゲームの時間が2時間以上の児童の割合が多い（全国平均より長時間傾向が見られる）
- ▲SNSや動画視聴が1時間以上の児童の割合が多い（全国平均より長時間傾向が見られる）

## 2 今後に向けた改善策

### (1) 学力向上の取組

何のための学習活動なのかを子どもたちが意識できる授業展開

- 子どもたち自身の思いを生かして問題意識や目的意識をもたせる授業づくりを大切にします。
- 単元のためて・学習計画・身に付けさせたい力などを共有することを大切にします。
- 学習状況の「振り返り」を大切にします。

筋道を立てて説明する(書く)活動の位置付け

- 自分の考えをもつ(書く)場面の位置付け(交流前 交流後など 一度は個人で考える時間をつくる)を大切にします。
- 必要な情報や条件を満たしているかを考えさせる場面を大切にします。
- 授業中のペア交流の位置付けや宿題などでのミニ作文(日記やテーマ作文など)の取組を継続します。

家庭学習の意欲化

- 児童の実態に応じた宿題内容を工夫します。
- がんばりの成果を実感できる「がんばりの『見える化』」を進めます。



### (2) 望ましい生活習慣づくり

落ち着いた生活習慣の定着と時間の使い方を考える力の育成

- 「西っ子7つのきまり」「西っ子のきまり」の徹底に努めます。
- 「自主学習プランニングシート」「生活プランニングチェックシート」を活用して、家庭と連携しながら、主体的な家庭学習の習慣化や生活リズムの見直しや改善に努めます。
- 情報機器使用時のルールやメディアとの関わり方に関する指導に取り組みます。

## 3 お願い

生活習慣と学力には、密接な相関関係があることが分かっています。学校では、「授業改善」「落ち着いた学習環境づくり」「望ましい習慣づくり」等の取組を行っていきます。御家庭でも、学校で取組を推進している「自主学習プランニングシート」「生活プランニングチェックシート」を御活用いただきながら、「家庭学習の定着」「早寝・早起き・朝ご飯」「家族同士での挨拶・会話」「お手伝い」「外遊びの奨励」等、基本的な生活習慣の改善と定着について、御指導いただきますようお願いいたします。